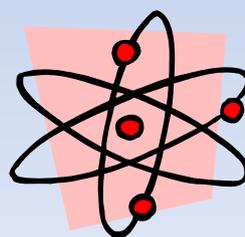


獣医学コアカリキュラム 経過と今後の取り組み

じっくり時間をかけて完成させてゆくもの…
そして、時代とともに進化してゆくもの…

尾崎 博
東京大学大学院
農学生命科学研究科



教育の質保証を担保する3つの手法



国家資格と直結する分野(医・歯・薬・看護・法律)が先行している

よく受ける質問

「獣医学にコアカリを！」
の議論は
どこから始まったのか？

医歯薬とは違った経緯が、、、



医学 コアカリ制定の経緯

- ・ 臨床教育、特に参加型臨床実習が不十分。
- ・ しかも、学生と患者とのトラブルが頻発し、大きな社会問題となる懸念があった。



- ・ 実習前の学生の質の保障制度（共用試験）の実施が急務となる。
- ・ すなわち、コアカリは質保証のための基準として制定された。（平成13年）

（学科目を廃して医学教育の全体像を提示）



薬学 コアカリ制定の経緯

- ・ 参加型実習を行うための6年制への移行に際して、コアカリが必要。(平成14年)
- ・ 平成16年の国会決議文にも共用試験実施の文言が入り、厚労省の全面的なバックアップのもとに制度化。



獣医学 コアカリ制定の経緯

- ・ 獣医学教育関係者は、獣医学教育全体が不十分であると文科省に再三直訴していた。
- ・ これに対して、文科省から「不十分と言うが、あなた方はいったい獣医学で何を教育したいのか？」と説明を求められた。

⇩ **これに対して、**

- ① 国家試験基準しかなく、大学が主体的に考えた教育基準がないことに気づかされた。
- ② 各大学の状況を定量的に評価する客観的基準作りになることにも気づかされた。
(概算要求の根拠ともなる)
- ③ 参加型実習についてもようやく制度化の歩みが始まった。(平成22年 農水省報告書)



獣医学にもコアカリが必要



そんな事情で始まったコアカリ事業ですが、、、

コアカリ第一次案の概要

「標準的カリキュラム」を
もとに設定された
50科目（講義科目）について

様々な意見があるかと思いますが、
114名の先生方の「血と汗と涙」の
結晶です、。。。。。

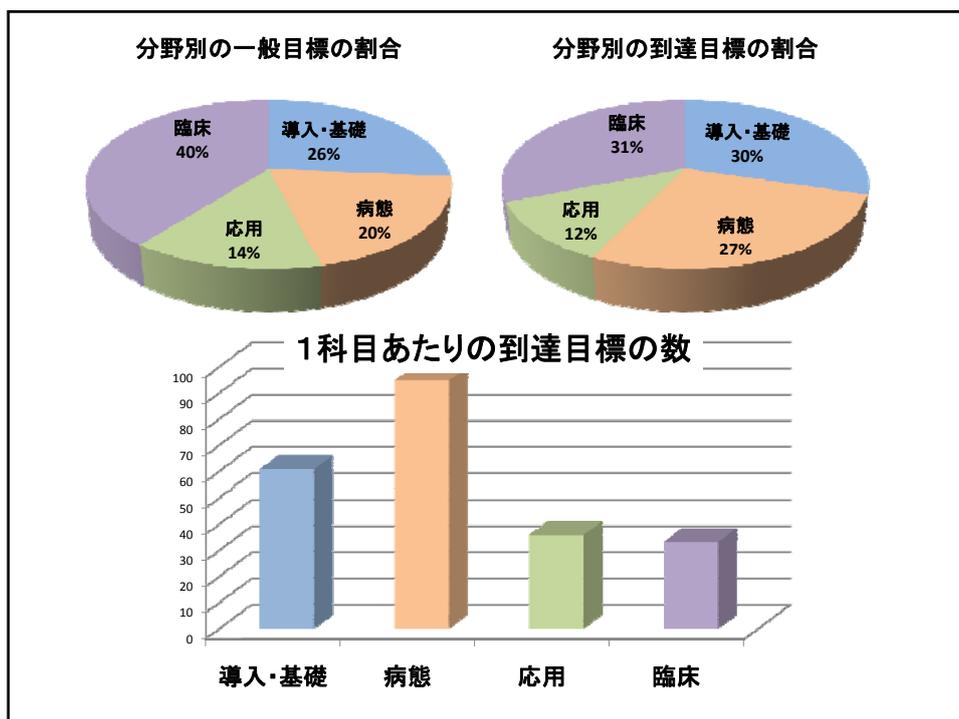


分野別の項目数の比較（第一次案）

	科目数	一般目標	到達目標
導入・基礎	12	195	727
病態	7	147	662
応用	8	106	285
臨床	23	293	761
合計	50	741	2435

多いのでは！

医・歯学の到達目標数は1000、薬学は1200(ただし共用試験出題項目は1000)



意見聴取

第一次案に対するパブコメ

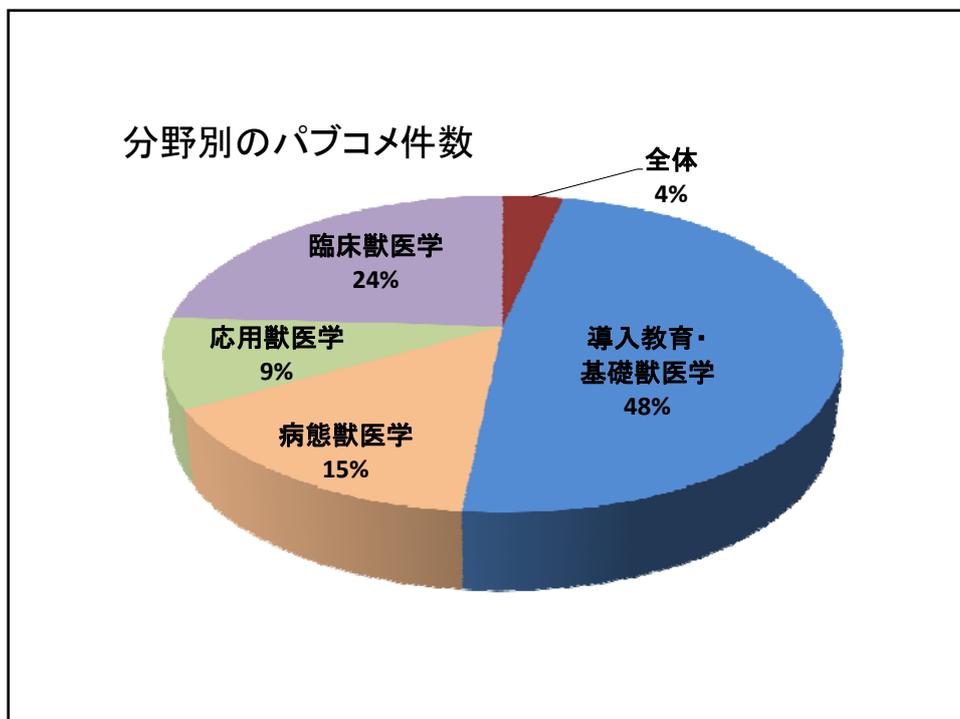
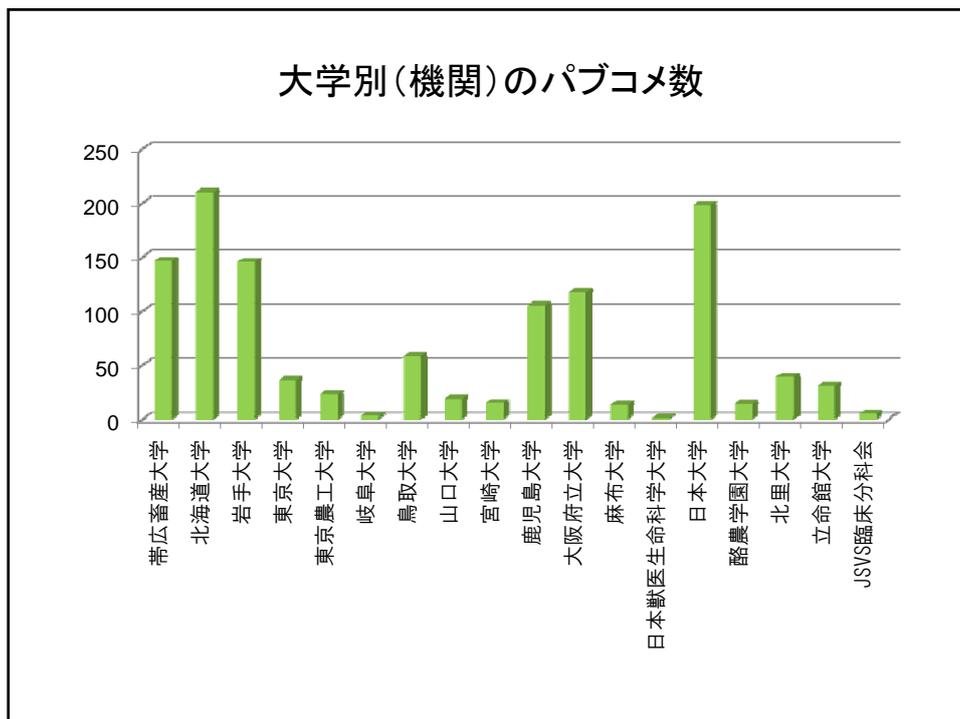
総数: 1,415 件

前回のシンポジウムで、すべてのパブコメに対して個別に回答すると発言（尾崎）



申しわけありません。
膨大な作業となるため、撤回させていただきます。





一次案パブコメを反映して修正する主な点

主に臨床分野の調整：

「大動物と小動物の分離」と「外科学と内科学の分離」

- 臨床分野にあった放射線学の基礎部分を基礎分野へ
- 歯科を消化器病学へ統合
- 軟部外科を新設し口腔外科を統合
- 血液病学の名称を血液病・免疫病学に
- 大動物に関する項目を、産業動物臨床学へ移動
- 放射線学を分割し放射線生物学を基礎へ
- 臨床薬理の項目の整理(減少)



その他

家禽疾病、魚病、寄生虫、感染症、微生物の項目数を増やす

今後の予定

- 講義科目二次案の公開
 ↓ (10月末ごろ)

二次案パブコメ

- 実習科目一次案の公開
 ↓ (11月ごろ)

パブコメ

問題点：科目によって状況が大きくことなる
 総合参加型臨床実習が最重要



最終期限：平成23年3月 印刷・公開

コアカリ制定後の活動

- ① 各大学のカリキュラム改定
- ② 共通テキストの作成
- ③ 参加型実習への対応
(共用試験に向けての準備作業)
- ④ コアカリキュラムの改訂作業



共通テキストの作成

模範解答を示さなければ無責任 !!

- **日本獣医学会に**
獣医学コアカリ準拠テキスト編集委員会
(2010.6月:委員長:伊藤茂男教授)
- **来年度から作業を開始(コアカリ施行後)**
各分科会に科目を割り振る
- **疫学、魚病学と毒性学が先行して作業を始める**
基本形式や標準フォーマットを提示する (コンパクトな内容に)



共用試験に向けての準備作業

臨床実習前学生の客観的な質保証において、
「何かを選ばなければならない中での1つの選択肢」

- 獣医学共用試験調査委員会 (2009.9月)
(委員長:高井伸二教授)
- 全国獣医学協議会に答申書を提出 (2010.3月)
実施に向けて準備委員会を設置することを決議
- 獣医学共用試験準備委員会活動開始 (2010.8月)



23年度の文科省支援事業
として行うことを予定



医学・歯学・薬学分野の状況 (臨床実習と共用試験)

- 平成22年7月 全体会議とワークショップ
 - ・ コアカリキュラムの改定
 - ・ 臨床実習のさらなる改善・充実
 - ・ 卒業時にもOSCEを

「3段階」の評価制度

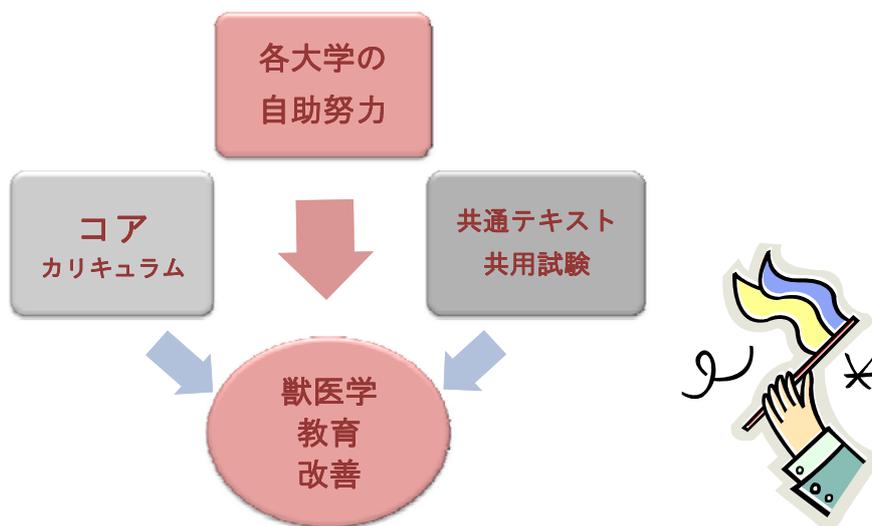
1st 共用試験 = 参加大学合意のもと **自律的規範**(客観的な)

2nd 卒業前の評価(卒業認定) = 各大学独自の **自律的規範**



3rd 国家試験 = 医師法・歯科医師法・薬剤師法による **規制**

コアカリや共通テキストはソフト面からのサポート
ハード面の改善は大学の自助努力！



コアカリの今後

まずはこれでスタート

じっくり時間をかけて完成させる…
そして、時代とともに進化させてゆく…

ご静聴有り難うございました

